

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	一般県道 <small>おがきえあんじょう</small> 小垣江安城線				
事業箇所	安城市 <small>あんじょう</small> 高棚町 <small>たかたな</small> ～刈谷市 <small>かりや</small> 半城土町 <small>はんじょうど</small>				
事業のあらまし	<p>一般県道小垣江安城線は、刈谷市小垣江町と安城市の JR 東海道新幹線三河安城駅に至る延長約 7.8km の路線で、一般国道 23 号及び一般国道 419 号を結ぶ、重要な幹線道路である。</p> <p>当該事業区間は、一般国道 23 号高棚北 IC と一般国道 419 号までを結ぶ約 1.9 km のバイパス道路のうち一般国道 23 号から一般県道半城土広小路線交差点までの区間の約 0.6 km を I 期区間として、整備するものである。</p> <p>当該事業の周辺は工場が点在し、交通量が多いにもかかわらず、現道は幅員が狭く、通勤時間帯においては慢性的に渋滞が発生するなど、物流や人の交流などの点で地域の課題となっている。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「国際競争力を強化する基盤整備」を主な目的として、安城市と刈谷市における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和するとともに、刈谷市街地と一般国道 23 号を結ぶ道路ネットワークの強化、高規格道路等へのアクセス性の向上を図るため、一般県道小垣江安城線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 国際競争力を強化する基盤整備</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (H24)	再評価時 (H29)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 25 年度～34 年度	平成 25 年度～34 年度		
	事業費（億円）	14.0	14.0		
	経費内訳	工事費	6.0	6.0	
		用補費	7.0	7.0	
		その他	1.0	1.0	
事業内容	バイパス整備 延長 L=0.6km 幅員 W=25m 2車線	バイパス整備 延長 L=0.6km 幅員 W=25m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の交通量は 2,602 台/日、混雑度 1.62（H22 センサス）となっており、通勤時間帯において渋滞が発生しており、渋滞の緩和が必要であった。 ・当該事業の周辺は工場が点在しており、国道 23 号及び国道 419 号等の主要幹線道路へのアクセス性を向上する必要がある。 <p>【再評価時の状況】</p> <p>① 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（渋滞緩和）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況は、交通量は 3,057 台/日（H27 センサス）、混雑度は 2.11 であり、依然として渋滞している。 <p>② 国際競争力を強化する基盤整備（広域交通性の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要幹線道路へのアクセス性の向上が依然として必要である。 <p>【変動要因の分析】</p> <p>事前評価時と現在の状況に大きな変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。</p>			

判定	B	A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 <input checked="" type="radio"/> B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																																																												
	【理由】 事業の必要性に変化はなく、引き続き整備の必要性がある。																																																																																													
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H25~H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工 種 区 分</td> <td>設計・調査</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="4">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="6">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費 (億円)</td> <td>計画</td> <td>7.0</td> <td colspan="6">7.6</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6.4</td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table> 【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>進捗率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.6</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>7.0</td> <td>6.4</td> <td>91.4%</td> <td>14.0</td> <td>45.7%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>75.0%</td> <td>6.0</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>100.0%</td> <td>7.0</td> <td>57.1%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.0</td> <td>0.9</td> <td>90.0%</td> <td>1.0</td> <td>90.0%</td> </tr> </tbody> </table> ※用地進捗率(面積ベース)は、約48.1%			H25~H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	工 種 区 分	設計・調査	←→							用地補償	←→							工事	←→							事業費 (億円)	計画	7.0	7.6						実績	6.4								これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	事業費(億円)	7.0	6.4	91.4%	14.0	45.7%	工事費	2.0	1.5	75.0%	6.0	25.0%	用補費	4.0	4.0	100.0%	7.0	57.1%	その他	1.0	0.9	90.0%	1.0	90.0%
			H25~H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34																																																																																					
	工 種 区 分	設計・調査	←→																																																																																											
		用地補償	←→																																																																																											
工事		←→																																																																																												
事業費 (億円)	計画	7.0	7.6																																																																																											
	実績	6.4																																																																																												
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																										
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】																																																																																									
延長(km)	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0																																																																																									
事業費(億円)	7.0	6.4	91.4%	14.0	45.7%																																																																																									
工事費	2.0	1.5	75.0%	6.0	25.0%																																																																																									
用補費	4.0	4.0	100.0%	7.0	57.1%																																																																																									
その他	1.0	0.9	90.0%	1.0	90.0%																																																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。																																																																																													
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・平成34年度までに整備が完了する予定である。																																																																																													
判定	A	<input checked="" type="radio"/> A: 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。																																																																																												
【理由】 ・事業は順調であり、予定通り平成34年度までに整備完了が見込まれるため。																																																																																														

Ⅲ 対応方針		
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。	
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後 年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度		